

第8節 チャンフー80 (80TRAN PHU)

1 調査の概要

チャンフー80番は通りの北側にあり、日本チームが最初に修復を手がけた建物である。床の修理にあわせて前家の床を試掘した。前家のほぼ中央に1m×1mのトレンチを設定した。調査の結果、床面下約50cmでレンガ敷きがない部分を床面下80～110cm掘り下げたところ自然層の橙色砂層があらわれた。この80番の家には1858年と1921年の土地家屋台帳が保管されており、現存する建物が建築調査によって20世紀に入った建物と考えられるため、検出した遺構は1858年記載の建物基礎の可能性があらう。橙色砂層の下には遺構がなく、そのためこの地は19世紀以前に家屋がなかったことになる。なお、調査は1995年に実施し、担当者は菊池である。

2 調査日誌

- 4月11日 80番の一階部分のほぼ中央部分に1m×1mのトレンチを設定。20cmごとに掘り下げ遺物を取りあげる。50cmの深さのところ、レンガ敷きを検出。以前の家の基礎と思われる。
- 4月12日 レンガがない部分を80～110cmの深さに掘り下げる。地山の橙色砂層があらわれる。

3 遺構 (図77、写真図版8)

レンガ敷遺構は、トレンチの北側で検出された。北面に接するレンガは上段で6段、下段で4段のレンガを重ねている。おそらく、現建物よりも古い建物の基礎であらう。

(菊池誠一)

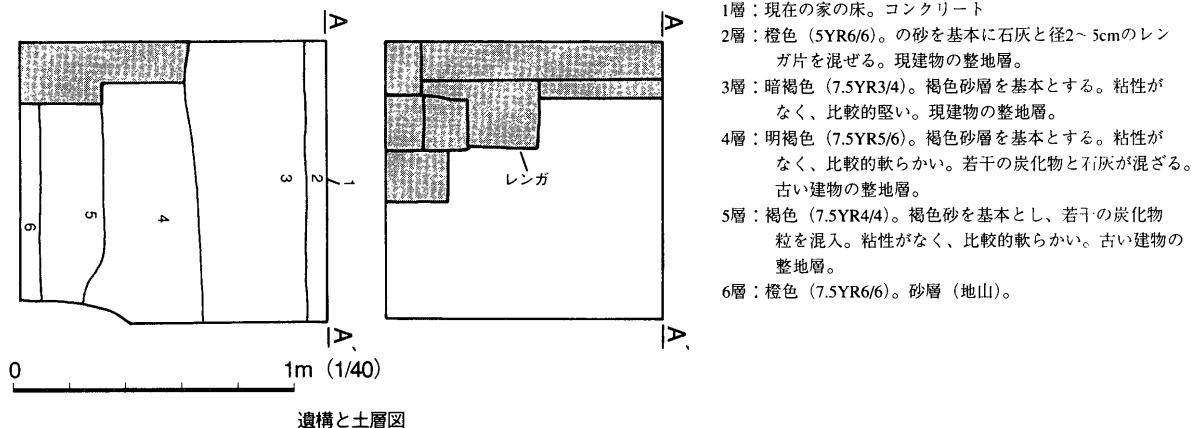


図77 チャンフー80

4 遺物 (図78、表25、写真図版20)

出土遺物は、中国製陶磁器21点(破片数、以下同)、日本製磁器4点、ベトナム製陶磁器7点である。

中国製磁器は景德鎮窯、福建窯系の染付け(青花)と青磁である。生産年代は1590年代から18世紀代まで、18世紀代のものが中心となる。中国製陶器は宜興窯系の清代の製品である。日本製品はすべて肥前窯系の磁器で、生産年代は1650年代から1670年代である。ベトナム製品は陶器がほとんどの割合を占める。報告するにあたって生産地と生産年代別に代表的な物を合計14点図化した。

1・2は景德鎮窯系の染付けで18世紀代の製品である。1は小碗で畳付が釉剥ぎされている。

3は景德鎮窯系は青磁で、17世紀末から18世紀代の碗である。見込みと高台内は透明釉が掛分けられている。青磁釉は厚くかかり、畳付は釉剥ぎされている。

4は福建窯系の染付けで1590年代から1640年代の蓋である。縁部は釉剥されている。

5は宜興窯系の陶器で清代の煎茶道具である。

6～9は肥前窯系の磁器である。6・7は1650年代から1670年代の碗である。8・9は1640年代から1660年代の皿で8は畳付が釉剥ぎされている。

10はベトナム産の磁器で、見込みが蛇の目釉剥ぎされている。畳付は釉剥ぎされており、高台内には荒い鉋削り痕が見られる。

11～14はベトナム産の陶器である。11～13は長胴瓶である。11は北部ベトナムの製品で、肩部に縄簾文が施されている。13は外側面に暗褐色の自然釉が付着する。14は蓋である。

(阿部百里子)

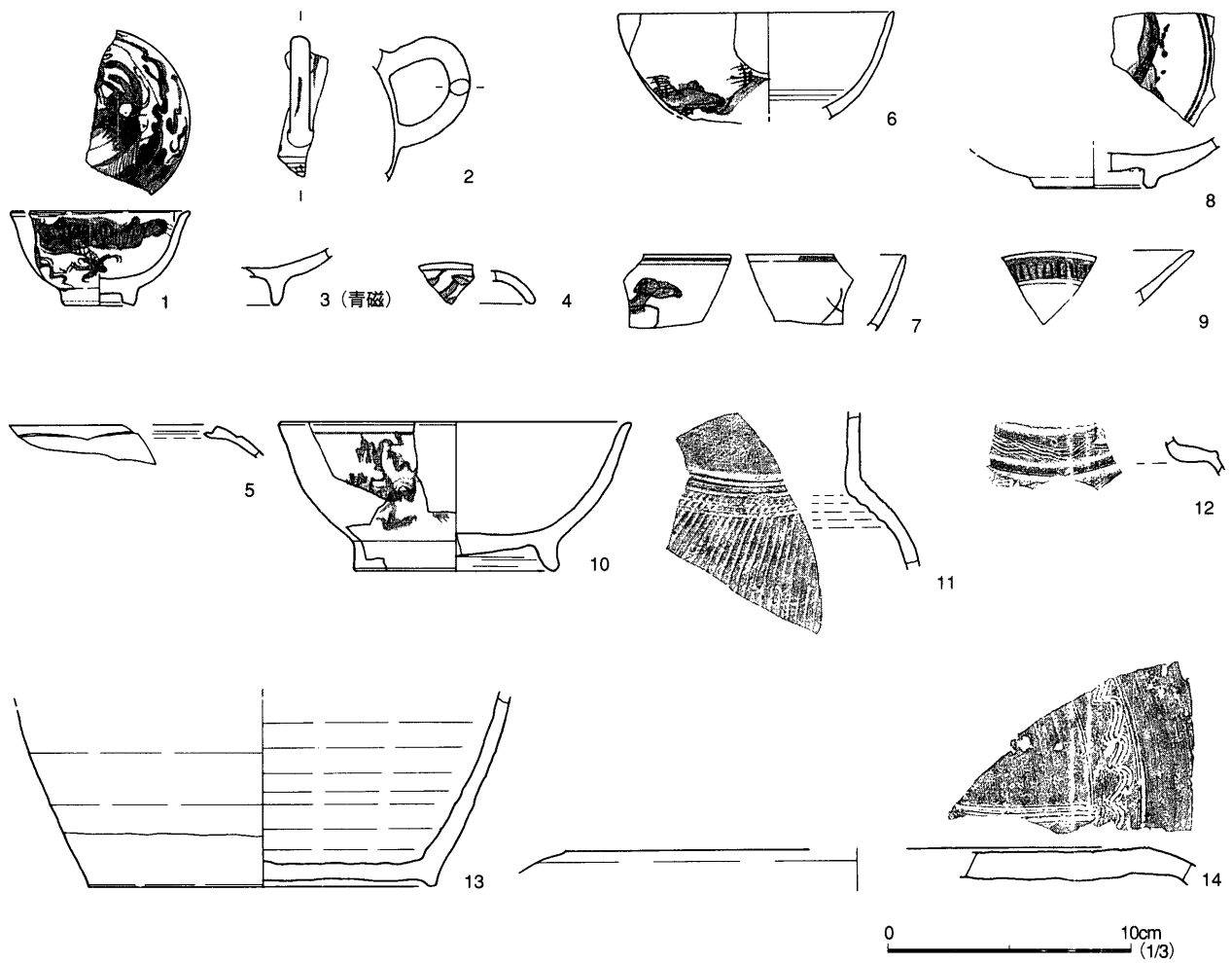


図78 中国、日本、ベトナム製品 (Trung Quoc、Hizen、Viet、Nam)

No.	産地	器種	外側	見込み	内側	高台内	年代	釉調	焼成	化粧	付着物	a	b	c	d	残存	備考
001	景德鎮	染付小 環	雲龍文	雲龍文			18c代	薄青	良好	<input type="checkbox"/>		7.2	3.8	3.0		1.2	
002	景德鎮	染付水 注把手	文様有		施釉		18c代	薄青	良好	<input type="checkbox"/>							把手部
003	景德鎮	青磁碗				施釉(透明)	17c末~ 18c代	青磁かき分け 外:明緑灰 内:透明	良好	<input type="checkbox"/>							底部片
004	福建	染付蓋	文様有		施釉		1590~ 1640年代	貫入有	良好	<input checked="" type="checkbox"/>							縁部片 口ハゲ 胎土 浅黄橙色
006	肥前	染付碗	山水文				1650~ 1670年代	薄青 呉須薄	良好	<input type="checkbox"/>		11.1					口縁~胴 部1/5 口縁部片
007	肥前	染付碗	文様有		文様有	施釉	1650~ 1670年代	呉須薄	良好	<input type="checkbox"/>							口縁部片
008	肥前	染付皿		山水文			1640~ 1650年代	薄青 呉須薄	良好	<input type="checkbox"/>				4.9			底部1/6
009	肥前	染付皿			口縁部文様帯 有		1650~ 1660年代		良好	<input type="checkbox"/>							口縁部片
010	ベトナム?	染付碗	文様有	蛇の目釉剥		無釉	17c前半? 1660以前	薄青 呉須オリープ 灰	不良	<input type="checkbox"/>	一部スス	14.2	6.0	8.2		1.3	

No.	産地	種類	分類	文様	胎土色	色調内外	胎土	焼成	a	b	c	d	残存	備考
005	中国江 蘇省宜 興窯	煎茶入れ			暗赤褐10R3/2	外:褐釉 暗赤褐 5YR3/2 内:赤褐10R4/4	精緻	良好					口縁部1/5	外側面施釉 清朝の製品
011	ベトナム	長胴瓶		縄籬文	暗灰N2/	外:暗灰N2/ 内:灰色N5/	精緻 白色砂粒少含	良好					肩部片	北部ベトナム産
012	ベトナム	長胴瓶		凸帯・ 波状文	暗赤褐色 2.5Y R3/2	外:鈍赤褐5YR5/4 内:黄灰2.5Y4/1	精緻	良好					肩部片	
013	ベトナム	長胴瓶			極暗赤褐色 2.5YR2/2	外:灰N6/ 内:灰N4/ 自然釉	精緻	良好			13.4		胴~ 底部1/2	外側面に自然釉(暗褐 7.5YR3/4) 附着
014	ベトナム	蓋		波状文・ 沈線文	灰褐7.5YR5/2と 灰白7.5Y R8/1 の層状	外:褐色7.5YR4/4 内:灰褐色 7.5YR5/2	精緻 ラテライト粒 含	良好					1/8	

表25 遺物観察表